

一般社団法人未来研究所臥龍
設立6周年記念 公開パネルディスカッション

診療所の未来

2026. 7/30 (木)

14:00~17:00

参加費無料

新たな地域医療構想の策定、かかりつけ医機能報告制度の開始、オンライン診療の制度化など、診療所をめぐる環境は大きく変化しています。地域医療の第一線を担う診療所に求められるものは何でしょうか。診療所の未来の可能性について一緒に考えましょう。

全国社会福祉協議会本部第1・2会議室 + Zoom配信

(東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル5階)

第1部 講演者/パネリスト(50音順)

大橋 博樹氏 医療法人社団 家族の森 多摩ファミリークリニック 院長

川越 正平氏 千葉県医師会 理事、松戸市医師会 会長、
医療法人財団千葉健愛会あおぞら診療所 院長

野村 和至氏 医療法人社団野村医院 理事長

高瀬 義昌 医療法人社団至高会たかせクリニック 理事長、弊研究所理事

第2部 パネルディスカッション(質疑応答含む)

司会：黒木 春郎 医療法人社団嗣業の会こどもとおとなのクリニックパウルーム
院長、弊研究所理事

お申込み

会員の方は、案内メールの要領に従ってお申込みください。

※締切

2026.7/24 (金)

会員以外の方は、下記URLまたは右の2次元コードより
申込みフォームにアクセスしてお申込みください。

<https://forms.gle/BZGmoCQnXH2DhRjP6>

※現地参加は人数に限りがありますので、現地参加をご希望の場合でも、オンラインでの参加をお願いすることがあります。



お問い合わせ 一般社団法人未来研究所臥龍 事務局 admin@garyu.or.jp

ホームページ <http://www.garyu.or.jp/message.html>

ご入会案内 <http://www.garyu.or.jp/admission.html>

一般社団法人未来研究所臥龍 設立6周年記念 公開パネルディスカッション 〈講演者/パネリスト プロフィール〉(50音順)



■ 大橋博樹氏

2000年獨協医科大学卒業、武蔵野赤十字病院で初期研修の後、聖マリアンナ医科大学総合診療内科に入局、その後筑波大学附属病院総合診療科、亀田総合病院家庭医診療科で研修し、2006年4月より川崎市立多摩病院総合診療科医長。2010年4月多摩ファミリークリニックを開業。

資格

日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療専門医

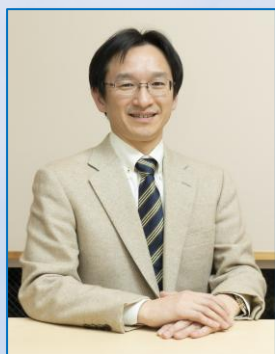
役職

日本プライマリ・ケア連合学会副理事長

川崎市医師会理事

東京科学大学臨床教授

聖マリアンナ医科大学臨床教授



■ 川越正平氏

東京医科歯科大学(現 東京科学大学)医学部卒業。1999年千葉県松戸市にあおぞら診療所を開設し、在宅医療や地域医療に取り組む。臨床実践と並行して、在宅医療連携拠点事業(厚生労働省医政局)、地域包括ケア研究会(厚生労働省老健局)、適切なケアマネジメント手法(厚生労働省老健局)などの国等の事業や研究に関与してきた。2024年度より、在宅医療・介護連携推進支援事業に係る検討委員会(厚生労働省老健局老人保健課)、2025年度より、これからのかかりつけ医の在り方を考える会(日本医師会名誉会長横倉義武氏主催)の委員も担う。

日本在宅医療連合会 副代表理事、東京科学大学 臨床教授。



■ 野村和至氏

2001年帝京大学医学部卒。東京大学医学部附属病院、自治医科大学附属大宮(現:さいたま)医療センターでの内科研修を経て、2003年から虎の門病院内分泌代謝科に勤務。その後、関東中央病院代謝内分泌内科、東京大学老年病科での勤務を経て、2015年東京大学大学院加齢医学講座医学博士号取得。同年母が院長を務める医療法人社団野村医院に加入、2017年同院院長。2021年2月には同医療法人にて「たかの内科クリニック」を開業、同年11月同医療法人理事長就任。東京大学大学院医学系研究科老年病学の非常勤講師や東京都医師会の医療情報検討委員会委員長、日本医師会の未来医師会ビジョン委員会、AIの臨床利用に関する検討委員会、日本老年医学会の保険診療小委員会委員長などを務める。糖尿病専門医(評議員)、老年科専門医(代議員)。



■ 高瀬義昌

1984年信州大学医学部卒業。患者・家族・地域を支える包括的医療を志し2004年に東京都大田区で、在宅医療を中心とする「たかせクリニック」を開業。以来20年以上にわたり在宅医療に取り組み、延べ約10,000名の在宅療養を支援してきた。現在は約700名の在宅患者を支える診療体制のもと、認知症や高齢者精神疾患を中心とした診療に従事。認知症サポート医、とうきょうオレンジドクターとしても活動し、厚生労働省、東京都、大田区の医療・介護・認知症関連事業にも携わりながら、地域包括ケアの推進や在宅医療の発展に尽力している。

また、東京医科大学地域医療指導教授、昭和医科大学客員教授、日本在宅医療連合学会評議員、公益財団法人日米医学医療交流財団会長、日本デジタル医学会副代表などを務める。教育・研究・国際交流、デジタル医学の分野でも幅広く活動している。



お問い合わせ 一般社団法人未来研究所臥龍 事務局 admin@garyu.or.jp

ホームページ <http://www.garyu.or.jp/message.html>

ご入会案内 <http://www.garyu.or.jp/admission.html>